

木曜講座

The Thursday course 2021

木曜講座
とは

西宮東高等学校が併設しているホール、「西宮東高校ホール（なるお文化ホール）」で行っております市民講座で、無料でどなたでも受講できます。また事前の登録や申し込みも必要ありません。
どうか33年目の本年度も、木曜講座をよろしく申し上げます。

第1回 9月9日(木)

『心と体を整えるヨガ
～柔らかな関節と深い呼吸と笑顔!～』



体の使い方の癖を見直し、自然治癒力を目覚めさせましょう!

第2回 9月16日(木)

『東京オリンピック・パラリンピックを振り返る—
—大会が生み出した正負の遺産』



揺れに揺れた大会を、専門家の目で総括します。

第3回 9月30日(木)

『承久の乱と北条義時』



来年の大河ドラマの主人公・北条義時についての最新の研究成果が学べます。

第4回 10月7日(木)

『没200年のナポレオン—
—わたしたちへの遺産』



ナポレオン研究の第一人者の講座をお聞き逃しなく!

第5回 10月14日(木)

『心で撮る写真の世界—記録から記憶へ』



先生のご縁戚にあたる詩人・中原中也についてもお話されます。

第6回 10月28日(木)

『生誕500年 武田信玄』



講師は武田信玄公のふるさと・山梨県からはるばるお越しになります。

第7回 11月11日(木)、12月2日(木) (予備日)

『生で聴くルネサンスの無伴奏合唱曲
～ジョスカン・デ・プレ没後500年～』



熟練の歌手たちによる少人数合唱曲のハーモニーを存分にお楽しみ下さい。

第8回 11月18日(木)

『生きている恐竜の世界
—絶滅、復興、そして繁栄—』



「恐竜は絶滅していなかった」という衝撃の事実を解説します。

第9回 11月25日(木)

『香港と一国二制度のゆくえ』



香港の「いま」と「これから」を香港人の社会学者が解説します。

※新型コロナウイルスの影響により、延期もしくは中止とする場合がございます。お出かけの前には西宮東高校ホームページか、裏面の問い合わせ先までご連絡下さい。

詳しくは裏面へ!

2021 木曜講座 講師の先生方紹介と講座の概要

■第1回／9月9日(木)

「心と体を整えるヨガ～柔らかな関節と深い呼吸と笑顔～」

山本ヨガ研究所所長 **山本 正子** (やまもと まさこ) 先生

▶今回の講座では、椅子に座ったままヨガを行います。「体」を整える面では関節を柔軟にし、体の歪みや関節の硬さを整えるヨガを実践します。また「心」を整える面では、呼吸法や丹田力を鍛える練習等をしていただき、ストレス解消や落ち着いた心・積極的思考を生み出す実践をいたします。

「山本ヨガ研究所所長。日本総合ヨガ普及協会理事長。沖正弘先生直弟子。インドヨガ道場で修業。ヨガで腰椎椎弓分離症が治った体験から、その素晴らしさを世の中に伝えるべく、ヨガ普及にあたる。著書「ヨガ幸福への招待」「スッキリ見えるように戻る視力回復セルフヨガ」。

■第2回／9月16日(木)

「東京オリンピック・パラリンピックを振り返るー ー大会が生み出した正負の遺産」

奈良女子大学准教授 **石坂 友司** (いしがわ ゆうじ) 先生

▶史上初の延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会は最後まで開催の是非で揺れ続けました。大会の理念や商業主義、復興やコロナ禍における社会との関係性について、特にオリンピックを中心にお話ししたいと思います。そしてこの大会が私たちにどのような遺産を生み出したのかについても考えます。

「スポーツ社会学が専門。オリンピック開催が生み出す遺産、都市や国にもたらす変化などについて研究している。著書に『現代オリンピックの発展と危機』(人文書院)、『未完のオリンピック』(かもがわ出版)などがある。」

■第3回／9月30日(木)

「承久の乱と北条義時」

聖護院史料研究所客員研究員 **長村 祥知** (ながむら よしとも) 先生

▶800年前の承久3年(1221)、鎌倉幕府の執権北条義時の追討を命じた後鳥羽院が、合戦に敗北し、隠岐に流されることとなりました。この出来事「承久の乱」は、北条氏や鎌倉幕府にとって(はもちろんのこと、長い日本の歴史を考えると)もきわめて重要な事件でした。本講では、北条義時に焦点を当てて、承久の乱についてご紹介いたします。

「専門は日本中世史。著書『中世公武関係と承久の乱』(吉川弘文館、2015年)など。京都府京都文化博物館学芸員として、特別展「よみがえる承久の乱-後鳥羽上皇vs鎌倉北条氏-」(2021年4月6日～5月23日)を担当。」

■第4回／10月7日(木)

「没200年のナポレオン——わたしたちへの遺産」

京都大学名誉教授 **杉本 淑彦** (すぎもと よしひこ) 先生

▶30歳にしてフランスの指導者となり、それから10年ほどでヨーロッパ大陸の大半を支配下におき、46歳で失脚して5年後に死去。ナポレオンの生涯は、輝く火球となって地球に到来する巨大隕石のようなものでした。それは地表の形状を変え、経済面だけでなく文化・思想など、現在にもその痕跡が多数残されています。

「京都大学名誉教授。高等学校用世界史教科書で近現代欧米史を担当執筆。NHK-BS「偉人たちの健康診断 ナポレオン」(2019年10月3日)に出演。「読売KODOMO新聞」(2021年4月8日)のナポレオン特集記事を監修。」

■第5回／10月14日(木)

「心で撮る写真の世界—記録から記憶へ」

写真家 **吉田 正** (よしだ せい) 先生

▶写真は人生を豊かにします。少し興味を持ち意識するだけで、昨日までの日常の風景が輝き始めます。美しい光景は一日として同じ影を落とすことはありません。そんな切ないまでの大切な「出会い」を体の全てで感じ、「心の目」に映る情景を「一枚の写真」に定着させ表現する、写真の魅力についてお伝えします。

「大阪芸術大学写真学科卒業。大日本印刷(株)C.DC写真部を経て独立。国内外に於いて「都市の気配」などをテーマに写真展開催。写真セミナー、イベント等プロデュース。日本広告写真家協会会員・日本写真芸術学会会員・写真楽園Club SEI/Club SEI-G主宰。」

■第6回／10月28日(木)

「生誕500年 武田信玄」

山梨県立博物館 学芸員 **海老沼 真治** (えびぬま しんじ) 先生

▶戦国大名の中でも特にその名が知られている武田信玄(1521～73)は、今年生誕500年を迎えます。その晩年には室町幕府や織田信長など、中央政局にも大きく関与し、近畿地方の様々な勢力との関係も有していました。近年、織田信長研究などの進展に伴い、信玄と中央権力との関係も見直されつつあります。本講座ではその一端をご紹介します。

「立正大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了。主な編著書:『山本菅助の実像を探る』(編著、戎光祥出版、2013年)など。担当した展覧会:開館10周年記念特別展「武田二十四将一信玄を支えた家臣たちの姿」(2016年)、開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」(2021年)など。」

■第7回／11月12日(木)、12月2日(木) (予備日)

「生で聴くルネサンスの無伴奏合唱 ～ジョスカン・デ・プレ没後500年～」

西宮東高校教諭 **中井 英文** (なかい ひでふみ) 先生

指揮: **笠原 雅仁** (かさらは まさひと) 先生

合唱: **Chorus Jovis**

▶ジョスカン・デ・プレはルネサンスを代表する作曲家で名曲が多いのですが、日本では教会音楽が馴染まれていないこともあり、あまり聴かれていないのが現状です。この講座ではルネサンス音楽の特色やジョスカンの高い作曲技法の解説のほか、8人の声楽アンサンブルによるミサ「ラ・ソ・ファ・レ・ミ」の実演等をお楽しみいただきます。

「中井英文(歌と解説):西宮東高等学校教諭、学校司書。教職の傍ら、日本テレマン協会やザ・タロー・シンガーズ等のメンバーとして合唱を経験する。笠原雅仁(指揮):武蔵野音楽大学、英国王立音楽大学大学院古楽科等を卒業。アンサンブル「エリマ」、「カンタル・ロンターノ」等で声楽家、リユート、コレット奏者として活躍。アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィア一二主宰。」

■第8回／11月18日(木)

「生きている恐竜の世界—絶滅、復興、そして繁栄—」

丹波電化石工房教育普及専門員 **田中 公教** (たなか とものり) 先生

▶近年、兵庫県をはじめとして、日本から続々と恐竜の化石が発見されています。恐竜は絶滅してしまっただけというイメージがありますが、最近はスズメやカラスなど「鳥類」も恐竜の一員であることが一般に知られてきました。本講座では、中生代から現代まで続く恐竜たちの進化の道のご紹介をします。

「丹波市立丹波電化石工房・教育普及専門員。兵庫県立大学客員研究員。北海道大学にて博士課程を修了。専門は古鳥類学。主にカナダ・サスカチュワン州の化石を調査し、恐竜時代にいた海鳥の研究を行っている。」

■第9回／11月25日(木)

「香港と一国二制度のゆくえ」

立命館大学准教授 **張 或啓** (ちやう いくまん) 先生

▶激動する香港を概観し、これからの日本や世界への影響を歴史・文化社会的観点で予想する。一国二制度が実質的に崩壊し、民主化はおろか、自由さえもはく奪された自治都市・香港をどう理解すべきなのか。日本人にとって、香港を見る意義はあるのか。近年の香港事情を香港人の社会学者が解説する。

「立命館大学国際関係学部准教授。香港中文大學社会学博士。文化・歴史社会学の視点から、ネイションとしての日本と、都市としての香港を対象に、東アジアにおける「近代」の成立、変形と伝承を研究している。共著書『辺境の思想』『香港』『鉄道への夢が日本人を作った』。」

木曜講座のご案内

- 会 場: 西宮東高校ホール (なるお文化ホール)
- 開 場: 13時30分 ■開 演: 14時 ■終 演: 16時
- 入場料: 無料
- 参加資格: どなたでも歓迎 (当日受付)
- 問い合わせ先: 西宮東高校 TEL (0798) 47-6013
ホール TEL (0798) 47-7977

西宮東高校 検索

↑兵庫県下に暴風警報が発令中で開演1時間前までに解除されない場合、休講になることがあります。ご照会ください。

